

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2024年5月21日（火）16時00分～17時58分

場 所：日本天文学会 事務所（東京都三鷹市大沢 2-21-1）

（学会事務所よりオンライン会議システムを用いて開催。）

出席理事：野村英子、百瀬宗武、勝川行雄、町田真美、鈴木竜二、酒向重行、安東正樹、廿日出文洋、
金田英宏、吉田直紀（17時30分退席）、楠瀬正昭（17時退席）、野澤恵、石川遼子、山村一誠、
津村耕司（17時から参加）

欠席理事：井田茂、大朝由美子

出席監事：松尾宏、山田亨

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐、高橋慶太郎（日本天文学白書委員会委員長
予定）が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、理事総数 17 名のうち出席者が 14 名で定足数を満たし、本会が成立することが
確認された。また、オンライン会議システムにより出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、
出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを
確認した。

I-2. 会長は欠席のため、百瀬副会長が議長を務めることを確認した。また、署名人は百瀬副会長、
野村副会長、松尾監事、山田監事の 4 名が行うことを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前回（2024 年 3 月 8 日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

以下の議題は、井田会長の総括のもと作成し、議長が内容の説明を各担当理事に指示した。

II-1. 日本天文学会 2023 年度事業報告の承認（資料 4、勝川）

2023 年度の事業報告が説明された。学术交流事業費の支出減少と担当する委員会がない事に対し
て問題点はないかと質問があった。事務所の会員係と会計理事が、採否とともにホームページに
公開している計算式に則って支給額を決めているため現状で問題ないこと、2024 年春季年会が関
東開催と一部オンライン開催であったため応募がなかったことによる支出減少であり、開催地
によっては過去にも類似の状況があったことを説明した。2023 年度事業報告は賛成多数で承認され
た。

II-2. 日本天文学会 2023 年度決算書の承認（資料 5、鈴木）

2023 年度の決算書について報告された。この版は会費及び賛助会員の会費の配分率に関して監事
監査で指摘をうけ修正したことが報告された。未収金に関する注意喚起があった。2023 年度決
算書は賛成多数で承認された。

II-3. 新規加入者の承認（資料 6、町田）

2024 年 3 月 1 日～2024 年 5 月 11 日までに正会員入会 41 名、準会員入会 9 名、準会員から正会員への移籍 1 名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-4. 日本天文学白書について（資料 7、勝川）

日本天文学白書委員会の設置提案及び内規案が提案された。内規案の文言を修正の上、内規および委員会構成員が賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 日本天文学会 2023 年監査報告（資料 3、松尾）

事前に提出された 2023 年度の事業報告書および財務諸表に基づき、2024 年 5 月 15 日に監査を行った。各種事業の運営と予算の執行に基づき、事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることを確認したことが報告された。

III-2. 移籍・退会等の報告（資料 6、町田）

2024 年 3 月 1 日～2024 年 5 月 11 日までに正会員退会 176 名(2023 年度末 148 名、2024 年度 28 名、2023 年度会費未納による除籍 26 名含)、準会員退会 69 名(2023 年度末 53 名、2024 年度 16 名、2023 年度会費未納 13 名)、賛助会員 1 団体の退会があったことが報告された。

III-2. 天文教育委員会からの報告（資料 8、勝川）

i) 天文教育フォーラムの準備状況、ii) 講師紹介プログラムで 5 件の紹介が成立したこと、iii) 監修者紹介プログラムは応募が無かったこと、iv) 春季年会のジュニアセッション内で、中高生・教員と若手研究者の「天文対話」第一回を実施し、大変盛況であったこと、v) IAU OAE の活動報告が行われた。

III-3. PASJ 編集委員会からの報告（資料 10、安東）

2025 年機関購読料とオープンアクセス掲載料について OUP との契約を改定したことが報告された。

III-4. 年会ハイブリッド開催に関するタスクフォースからの報告(資料 9、野村)

i) 2024 年秋季年会ではオンライン講演を受け付けること、ii) ネットトラブル対策への対応方法を検討していること、iii) 将来的には会場を固定化した開催も検討すること、iv) 2024 年春季年会のアンケート結果が報告された。アンケート結果は、会員が自由度の高い完全ハイブリッド開催を希望していることを示しているが、開催地の事情を鑑みて対応することを確認した。

III-5. 年会実行委員会からの報告（資料 11、廿日出）

2024 年秋季年会(9/11-13, 関西学院大学 三田キャンパス)の準備状況が報告された。合わせて、記者発表は 9 月 10 日に完全オンラインで行うことも報告された。

III-6. Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドラインタスクフォース(資料:画面掲示、野村)

2024 年 3 月の理事会で提案されたハラスメント防止ガイドライン作成のためのタスクフォースを立ち上げる、メンバー構成と作成予定期間が報告された。

III-7. 事務所の近況報告（佐藤）

特になし。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2024年3月8日）議事録（案）

資料3 監査報告書

資料4 公益社団法人日本天文学会 2023年度事業報告書(案)

資料5 公益社団法人日本天文学会 2023年度決算監査書類目次(会計関係)

資料6 加入者・移籍の承認 退会者報告(2024年3月1日—2024年5月11日)

資料7 「日本天文学白書委員会」設置提案

資料8 天文教育委員会活動報告(2024年2月29日—2024年5月12日)

資料9 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告

資料10 PASJ 編集委員会からの報告

資料11 年会実行委員会活動報告

2024年5月21日

副会長：野村 英子 印

副会長：百瀬 宗武 印

監事：松尾 宏 印

監事：山田 亨 印